

弘前城石垣修理

第28回 ～いよいよ弘前城天守曳戻し～

重要文化財の弘前城天守が、11年ぶりに天守台に戻ります。8月21日(金)～28日(金)までは曳戻しイベント「ひっばれ! けっばれ! 弘前城」を開催します。21日(金)はプロジェクションマッピングやドローンショーなどのオープニングセレモニー、22日(土)・23日(日)は天守曳戻し体験や内濠内覧、謎解きクイズラリーなどの各種イベント、24日(月)～28日(金)は天守曳戻し疑似体験撮影スポットを開かします。詳細は曳戻しイベントのホームページをご覧ください(※1)。

天守曳戻し工事は、令和7(2025)年10月に着手しており、令和7年度は、本丸南側への仮設通路設置(※2)、天守内部の養生、仮補強用鉄骨および床板の取外し(※3)などを行いました。令和8(2026)年度は、「弘前さくらまつり」後から天守揚家の準備作業に入り、6月12日に油圧ジャッキを使用して仮天守台から天守を切り離し、土台下に鉄骨、ローラー、レールを設置して6月29日から移動を開始しました(※4・5)。今回

の天守曳戻しは、平成27(2015)年度に実施した曳家のルートを進むもので、約78mの距離を約6カ月かけて移動します(※6)。工事の進捗(しんちよく)状況については、



▲(※2) 仮設通路の設置

弘前城本丸石垣修理事業のホームページでお知らせしています。また、工事は公開型となっておりますので、11月下旬頃まで本丸南側の展望デッキからご覧いただけます。



▲(※3) 仮補強鉄骨と床板の取外し(天守1階)

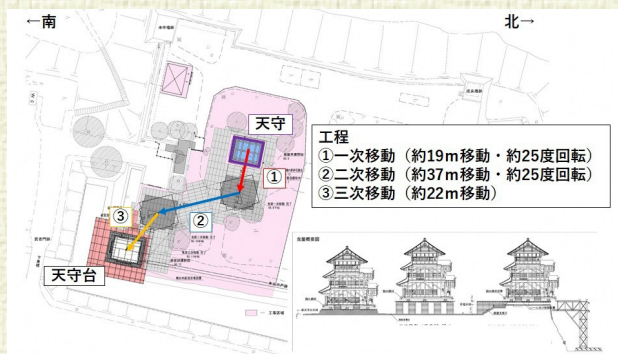
天守が元の天守台に戻った後は、天守本体の耐震補強と約70年ぶりの保存修理工事を予定しています。現在の計画では、令和9(2027)年に天守修理の調査・設計を行い、令和10(2028)年秋頃から工事に着手、完成後の天守内部の公開は令和15(2033)年4月から再開する予定です。



▲(※4) 揚家用ジャッキ設置状況



▲(※5) 揚家の様子(天守北東角、6月12日午前11時時点)



▲(※6) 天守曳戻しルート

市ホームページには、弘前城本丸石垣修理事業の詳細や弘前城跡の文化財修理・史跡整備情報『弘前城かわら版』を掲載しています。ぜひご覧ください。

問い合わせ先 公園緑地課弘前城整備活用推進室(弘前市緑の相談所内、☎33-8739)



▲弘前城本丸石垣修理事業



▲弘前城かわら版



▲(※1) 曳戻しイベント